

ぼくに欠かせないもの

都城市立庄内中学校 1年 上水流 拓斗

「ごはん」それは、ぼくの生活にとって欠かせないものです。

ぼくは、毎朝おにぎりを食べています。おばあちゃんがいつもにぎってくれます。鮭、こんぶ、梅干し、いろいろな具材をいれて、おにぎりをにぎってくれます。どれもおいしいのですが、ぼくが一番好きなのは、塩をつけただけのシンプルなおにぎりです。お米の味を感じることができるからです。かめばかむほどお米の甘みが伝わってとてもおいしいです。

また、保育園のときから、にぎってありますがおにぎりの大きさがだんだんと、大きくなってきています。この前、おばあちゃんに「たくさん食べるようになったね。」

と言われました。おにぎりは、ぼくの成長とともに、大きくなっているんだなと感じました。これからもおばあちゃんのおにぎりを食べて大きく成長したいです。

ぼくにはもう一つおにぎりの思い出があります。それは母のおにぎりです。ぼくは小学三年生から野球を習っています。試合のときには必ずおにぎりを持っていくことになっていました。そのときのおにぎりは、母がよくにぎってくれました。母はにぎるときに、ヒットを打ちますように。エラーをしませんように。などと願いをこめてにぎっていたそう

です。その話を聞いて、おにぎりには元気を出す力もあり、思いをこめることもできる力があるんだなと思いました。母のおにぎりのおかげで、野球の試合では力をだしきることができたと思います。

また、ぼくはお米で四季を感じています。僕が住んでいる地域にはたくさんの田んぼがあります。春になると田んぼを耕やし、田植えの準備が始まります。そして、梅雨の時期になり、田植えがあり、緑色のなえがきれいに並ぶ様子を見ることが出来ます。それを見て、夏が来るなあと感じます。夏の日差しをたっぷりあび、ぐんぐんと成長していく稲。そして稲穂がでて、だんだんと黄金色に染まっていく田んぼ。最後に稲刈りがあり、天日干しされる稲。このように春・夏・秋・冬と田んぼから、季節を感じる事ができます。ぼくが一番好きな風景は、秋の風景です。田んぼが黄金色に染まり、稲穂が風にゆれ、とてもきれいだからです。季節もだんだんと過ごしやすくなり、やる気もアップしていくような気がします。

このように、ぼくはごはんと共に大きく成長してきました。これからおばあちゃんのにぎってくれるおにぎりがどのくらい大きくなるか楽しみでもあります。ぼくは背が低いので身長が高くなるようにおばあちゃんのおいしいおにぎりをたくさん食べて元気になりたいです。

体の成長だけでなくおばあちゃんの愛情や母の思いを知ることができ、季節のうつりかわりを感じる事ができるぼくらの生活に欠かすことので

きない大切なごはん。これからもごはんと共に、成長していきたいです。  
今度は、おばあちゃんと母に、ぼくがにぎったおにぎりを食べてもらいたいです。